

こんな症状が見られたら、副鼻腔炎(ちくのう症)かもしれません。

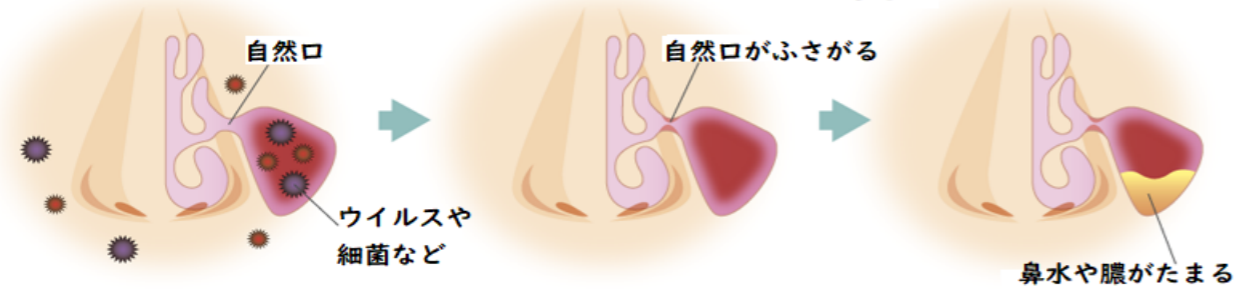
これからの季節だと花粉症と間違えられやすいですが、
風邪や花粉症が原因で副鼻腔炎になることも多いのです。

気になる症状をチェックしてみましょう。

- 鼻づまりがなかなか治らない
- 粘り気のある黄色い鼻水が出る
- 鼻水がのどに落ちる
- 匂いがわかりにくい
- 咳やたんが出る
- 頭が重い・頭が痛い
- 目の奥のあたりが痛い
- 頬のあたりが痛い



- ①風邪(ウイルスや細菌感染)やアレルギーによって炎症が起きる
- ②粘膜の腫れや鼻水によって自然口がふさがる
- ③副鼻腔から分泌物や異物を排泄できなくなり、鼻水や膿がたまる



副鼻腔炎は、かぜのウイルスや細菌、アレルギーなどにより、副鼻腔の粘膜に炎症を起こして腫れた状態です。

風邪(ウイルスや細菌感染)やアレルギーなどがきっかけで鼻の中で炎症が起きると、鼻の粘膜が腫れたり、粘り気のある鼻水が出てきます。
この腫れや鼻水によって、副鼻腔と鼻の間の自然口がふさがると、副鼻腔から分泌物や異物を排泄できなくなり、鼻水や膿がたまってしまいます。

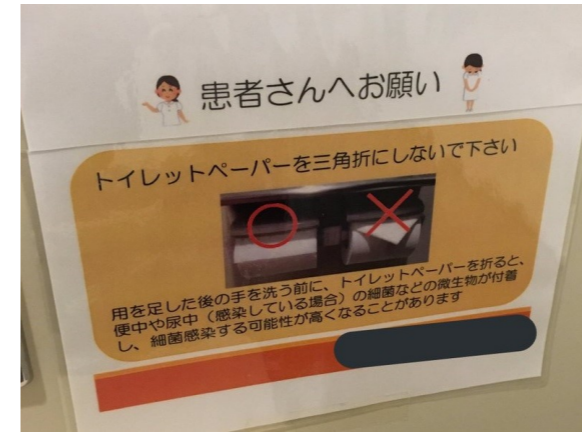
こうして起こるのが副鼻腔炎です。炎症が続くと鼻の中に「鼻茸(鼻ポリープ)」と呼ばれるできものができることがあり、それが鼻づまりや匂いがわからない原因にもなります。

鼻の症状には**通鼻**がイチオシです。

炎症が強い場合には、**紅豆杉**や**苦草**を併用します。

鼻だけにとどまらず、目の奥や頭まで痛くなってしまうことが多いので早めの治療を始めましょう。

常識は、どんどん変化していくものですね。



先日、病院に入院している友達のお見舞いに行った際、お手洗いにいきました。

そこで見つけたのがこの張り紙。

「そうそう。せやねん。三角折って不衛生やん」

いつもトイレットペーパーの三角折に異議を唱えたいと思っていた私は、この張り紙に感動して写真を撮ってしまいました。

トイレットペーパーを三角折にして出ると女子力高いみたいな感じもありますが・・・何だかなあ〜と

それと同じような話で、エスカレーターの片側によって歩く人に一列あけておくのも何だかなあ〜と思っています。

関西は左側を空けて右に立ち、世界中と同じで国際的だとか、関西以外では左側に立ち右側を開けるのが常識だとか。私も横浜や東京に行った時には左側に立ちいつもと反対になるのであ〜関東に来たと感じることも多かったのです。



JR西日本のポスターです。浸透して事故などが減りますように。

でも、けがや病気で半身が使えない人もあるし、ロンドンでの実験で、そもそもが2列で立って乗るほうが、混雑の3割減になるそうなんです。

昨年末関東に行った時には、大きくエスカレーターは歩かないで2列で乗って下さいと書いてありました。

トイレットペーパーの三角折と同様、エスカレーターでは歩かないということがもっと浸透すればいいなあ〜と思っています。

常識って徐々に変化していくものであると思うのですが、変化の理由がわかってそれに対しての不都合がなくなっていけばと思っています。

そして常識の変化に敏感でいたいと思っています。